

事前評価チェックシート

計画の名称： 交通事故ワースト1脱出に向けた道路交通環境の整備（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性 上位計画の政策目的と整合している。 第11次浜松市交通安全計画（令和3年度～令和7年度）に沿った交通安全対策事業である。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性) 人口10万人あたりの人身交通事故発生件数が全国20政令指定都市中13年連続ワースト1という本市の課題に対し、交差点改良や歩道設置等により交通事故発生件数の削減を図る。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 事故危険箇所や事故多発交差点等への重点的な交通安全対策により、人身交通事故の発生を抑制する指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 指標の現況値は、令和4年における市内人身交通事故発生件数を設定しており、事業完了後に人身交通事故発生件数を調査することにより人身事故削減率を示すことが可能。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 交差点改良や歩道設置等を行うことにより、円滑かつ安全な通行が推進され、交通事故発生件数の削減に繋がる。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 事故危険箇所や事故多発交差点等への重点的な交通安全対策により、交通事故発生件数の削減に一定の効果が見込める。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) 事故危険箇所等、対策の必要性の高い箇所の交通安全対策を重点的に進めるものであり、本計画では、着手済みの継続路線や地元から要望のある路線について事業を実施していく。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 交通事故削減に向けては、浜松市交通事故防止対策会議等で道路管理者や交通管理者、自治会等の関係機関が連携して取り組んでおり、関係機関によるソフト対策と合わせて効果が見込まれる。	○